

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：食品衛生指導費

事業名 獣医師確保対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 生活衛生課 乳肉・動物指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2566)

E-mail：

1 事業費 710 千円 (前年度予算額： 750 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	750	0	0	0	0	0	0	0	750
要求額	710	0	0	0	0	0	0	0	710
決定額	710	0	0	0	0	0	0	0	710

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

獣医系大学は、国公立11校、私立6校で総定員数は1,070名である。獣医師国家試験の合格者は毎年1,000名前後であり、公務員獣医師希望者も2割程度いるが、都市部の自治体を希望する傾向があり、地方の自治体は獣医師の採用に苦慮している。

特に新卒者の採用は困難を極め、選考試験受験年齢の上限を49歳に引き上げ幅広く優秀な人材の確保に努めてきたが、技師、主任級の年齢構成はいびつであり、健全な組織の運営を図るために、安定的かつ計画的に新卒者の採用を確保する必要がある。

(2) 事業内容

獣医系大学が開催する就職説明会に専任のリクルーターとして卒業生である獣医師職員を派遣し、学生との交流等を通じて岐阜県の魅力と業務内容について関心を高めるとともに理解を深めてもらい、優秀な職員の確保につなげる。

獣医系大学の学生を対象としてインターンシップ実習の受入れを行い、公務員獣医師の業務について理解を深めるとともに、優秀な職員の確保につなげる。

岐阜大学応用生物科学部のオープンキャンパスに獣医師職員を派遣し、共同獣医学科を目指す高校生に公務員獣医師の業務について知ってもらい、将来の優秀な職員確保につなげる。

(3) 県負担・補助率の考え方

優秀な人材を採用し、県の公衆衛生水準を維持するため県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

獣医師養成確保修学資金貸与事業補助金（農政部）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	678	獣医学系大学就職説明会旅費等
需用費	17	獣医学系大学就職説明会消耗品、印刷製本費、等
役務費	15	郵送料、宅配料
合計	710	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 他県の状況

都市部を除く多くの県で就職説明会への参加（37県）、インターンシップ実習の受入れ（16県）を行っている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
将来、県の公衆衛生水準の低下を招かないよう、公務員獣医師を安定的かつ計画的に採用し、適切な人員配置が可能な組織に近づける。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
新卒者の採用数	3人 (H30)	(H)	(H)	3人 (R1)	4人 (R5)	75%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・獣医系大学の就職説明会等に専任のリクルーターを派遣（14大学）
- ・岐阜大学オープンキャンパスへ参加（2日間）
- ・インターンシップ実習の受入れ（8名）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・獣医系大学の就職説明会等で岐阜県の獣医師職員の仕事に関心のある学生が、岐阜県の採用試験を受験した。また、在校生についても、岐阜県の採用試験の受験が見込まれる。
- ・インターンシップ実習に参加した学生が、岐阜県の採用試験の受験が見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	公務員獣医師を安定的に採用することが公衆衛生の維持、向上に不可欠
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) △	現状では、優秀な人材を自治体間で取り合う構図となっており、採用試験を受験、合格しても採用に至らないケースが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	これまでの採用状況から獣医系大学を区分し、派遣するリクルーター職員の人数を配分し、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 採用試験を受験、合格しても採用に至らないケースが多い。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、獣医学系大学の就職説明会等に参加し、採用試験の受験者確保に努めるとともに、採用につながる取り組みを行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	獣医師養成確保修学資金貸与事業補助金 【家畜防疫対策課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	連携して実施することで優秀な新卒者の確保が期待できる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

